

平成30年度 第3回 運営会議ニュース

日 時	平成30年6月10日(日) 13:30~15:00
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター(レクチャールーム)
出 席 者	13名

議題：各ゾーンエリアの管理について(各団体等からの報告事項)

●谷戸田の会

・6月4日、9日に谷戸田の2面に赤米と黒米の田植えを行った。天候不良のために苗代の成長がいまひとつであった。今季は田んぼの水の心配は無かった。今後7月から8月にかけて、田んぼの面と畦、シンボルツリー周辺の草刈りを行う。

・(管理事務所)里山体験館前の田んぼの田植えは、6月9日に「親子で米作り隊」の参加者50名で田んぼの一部に手で植え、残りを星の谷地区社会福祉協議会が機械で植えた。

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ

・5月の定例自然観察会の報告など：田んぼ脇のウツギ、里山体験館脇のヤマボウシ、ドクダミ等を観察した。ミズキの葉を食害するキアシドクガ(足が黄色の白い蛾で無毒)についての情報提供

●座間のホタルを守る会

・園内のホタルの発生状況は、初認が5月19日(昨年より1週間ほど早い)で、6月1日に40頭、7日に114頭(北奥谷戸23頭、その他91頭)であった。湿生生態園と田んぼ間の水路や水鳥の池から防災井戸までの水路一帯に多く発生している。一斉調査の方法は、園内を5つのエリアに分け、各エリアを2~3人のグループで7時45分から5分間数をカウントする(環境省のモニタリングサイト1000に準じている)方法。一般的に桜の開花時期に幼虫が上陸すると言われていて、今年は桜の開花が1週間早かったため、ホタルの発生も早かったと思われる。

・6月8日に公民館行事で40名に、6月12日にはノルディック関係者等にホタルガイドを行った。

・湧き水の谷の周辺のヨシ原等の草刈りが行われ、ホタルのカウントが行い易かった。

●谷戸山自然ボランティア

・野鳥の原っぱの(植物観察等の)道作りはいい感じになっている。また手入れを行う。

・林内の植物が観察できる場所が少ない中、管理事務所と立ち会い、米軍貯水池北側のコナラの林を立入り可能エリアにしてもらった。

・前回要望した休耕田の間のハルジオンが刈られてしまった。園内は昆虫が蜜を吸いに来る場所が少ないので配慮してほしい。⇒(管理事務所)分かるように明示していただければ刈り残しができます。

(委員)畦道の草が伸びすぎて来園者の通行に支障が出ていたと思う。要望側が来園者の通行にも配慮して最後まで管理するのが望ましい。

・田んぼにトウキョウダルマガエルのおたまじゃくしがいた。

・(前回の運営会議で意見を言っていなかったが)湿生生態園の草刈りが行われたが、昨年カルガモが営巣した場所も刈られてしまったので、今後は刈り残しを検討してほしい。

●写楽会

・昨年、一昨年と園内で確認できなかったチョウ等が確認された。(写真を回覧)：ウラギンヒョウモン、アカシジミ、テングチョウ、クワゴ、ウスキツバメエダシャク

・相変わらず湿生生態園の下池付近の湿地に立ち入る人がいる。管理事務所を設置した注意看板の向きを南北から見えるようにしたほうが効果的なのは。

●厚木土木事務所東部センター

・県道42号の埋蔵文化財発掘調査報告書が完成した。管理事務所貸出ができるので是非ご覧ください。座間市図書館などにも置いてある。

●公園管理事務所

・国が「生態系被害防止外来種リスト」の「産業管理外来種」に定めるビワの木(南口職員駐車場

付近等に生えている)が実をつけていて、鳥などが種を運んで園内で繁殖しているため伐採したい。⇒(委員)伐採は避け、種が増えてもその都度除去すればよいのでは。

- 今月の里山保全隊は、森の学校南側樹林地(水鳥の池側)の手入れを行う予定。
- 6月18日から枯れ枝除去作業を行う。

次回開催日	7月8日(日) 13:30~16:00
-------	---------------------

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。